

江東区こども発達亀戸センター 支援プログラム

営業時間	9時00分～17時00分	送迎実施の有無	有	通園バスあり 大人同伴同車
法人理念	この世に生まれてきたこどもは、一人ひとり異なった特性を示しながら育ち、どんなこどもも等しく尊い命を生きており、存在の価値は変わらない。支援とはそれぞれの尊い命が精いっぱい生きるように助けることである。			
支援方針	①対人関係、コミュニケーション、社会性を育くむ ②感覚、運動、情動を育み、主体的に楽しく生きる ③ことば、認知、概念、状況に気づく力を育む ④家族や地域の繋がりの中で共に楽しく育つ			
支援内容				
対象グループ	幼児グループ一日支援コース（きっず1・2）年齢：3～5歳児、登園頻度：週1～2日、保護者分離 9：45～14：15 自由遊び、個別指導、集団活動（午前・午後）、給食			
ねらい・支援内容	ねらい:物・人、生活・集団場面に関わる力をつける	支援内容：感覚や運動体験から気づきを促す		
本人支援	健康・生活	・生活リズムを維持して活動的に過ごす ・大人から健康管理(体温、食事、排泄等)を受ける ・身辺自立に向けて生活技能を習得する ・生活場面や手順の理解を育む	・食事・水分摂取・適度な運動と休息、安心感 ・体調変化、子の特性への気づき ・食事、着脱、支度、排泄、手洗い、片付け等の動作形成 ・場面の構造化・始点終点・動作の繋がりの理解	
	運動・感覚	・移動運動、応用運動の力を養う ・物・遊具にあわせた運動企画、運動技能を育む ・感覚の受容、運動との統合やイメージを育む ・運動を通してコミュニケーションを育む	・這う、歩く、走る、跳ぶ、渡る等、四肢協調運動 ・固定遊具、ボール、乗り物、マット運動、道具操作 ・揺れ遊具、触覚一運動:造形療法、聴覚一運動:音楽療法 ・運動体験、発表場面を通して達成感、満足感を共有する	
	認知・行動	・目と手の協応、モノの仕組み理解を育む ・弁別や構成力を育む ・再現・見立て等のイメージや遊びを広げる ・新しい体験を通して興味・行動の幅を広げる	・ベグさし・ブロックはめ・ひも通し・レールつなぎ等 ・型はめ、マッチング、分類、収集、切片/イメージ構成等 ・ままごと、電車ごっこ、餅つきごっこ、紙・箱遊び等 ・様々な集団活動の設定、行事体験、お当番活動等	
	言語 コミュニケーション	・動作サイン・指示理解を育む ・発声発語や意思伝達手段を獲得する ・名称・動作語・形容詞の理解を増やす ・動作や言葉のやりとりを育む	・写真・マカトンサイン・指さし・擬音・単語・2語文等 ・クレーン・サイン・指さし・写真・単語表出等 ・物の見立て操作、物・絵の命名遊び、日常体験へのことばかけ ・挨拶、呼名-返事、物受け渡し、本人表現への返し、質問-応答	
	人間関係 ・社会性	・自己の身体や情動の調整を育む ・友達への意識や関わり合いを育む ・模倣の力、人との一体感を育む ・場面理解や簡単なルールの理解を育む	・身体交流活動-抱き返し・くすぐり・ぎったんぱっこん等 ・対人交流活動-フープのひっぱりっこ、転がしっこ、お馬さんごっこ等 ・手遊び、リトミック、体操、ダンス、輪になりお遊戯 ・始点終点、方向コース・待つ・集合・順番・簡単なルール遊び	
地域支援・地域連携 (地域交流・園外活動)	・並行通園先と連携を図る ・こどもの支援のつながりを作る ・地域に開かれた場づくり	・職員見学訪問（幼稚園・保育園等の見学、懇談） ・保健相談所との情報共有、医療機関への発達支援報告書の作成 ・見学の対応、ボランティアの受入、発達支援講座開催		
移行支援	・就園、就学、転園の際に丁寧な情報共有を行い 切れ目のない支援へとつなげる	・就園、就学先の機関への発達支援報告書の作成 ・就学相談の資料、就学支援シートの作成 ・引継ぎ会議の参加		
家族支援	・家族からの相談援助の場をつくる ・保護者同士のつながりの場をつくる ・幼児期の発達や特性に関する学びの機会をつくる	・個別保護者面談 ・クラス懇談会、保護者会、父母会（修了児保護者のお話し会） ・子育て講座、個別こころの相談、ことばの相談		
職員の質の向上	・児童発達支援事業の必須研修等を大切にする ・内部・外部研修を設け職員の専門性を高める ・利用者・職員・法人の協力で評価・改善をする	・虐待防止、感染症予防等、身体拘束等適正化、防災等 ・内部：CoCo療育、認知発達、感覚統合、SST、ペアトレ ・利用者・アンケート、第三者評価の実施等		
主な行事等	・大人と季節の行事の楽しさを味わう ・健康、危機管理に関する事業に取り組む	・運動会・遠足・クリスマス会・修了証書授与・日曜療育参加 ・身体測定、小児科・歯科・整形外科健診、避難訓練		